

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岩手県 】

1 実践テーマ	III
2 実施対象者	学校名 盛岡市立上田中学校 対象学年 1 学年 クラス 4 学級 人数等 男子64名 女子58名 計122名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	パラリンピックがどのような大会で、出場するためには並大抵の努力ではたどり着けないことを指導した上で、「パラリンピアンの方の生き方」について課題化し、講演会で聞いたこと・わかったことを調査活動とし、課題についてまとめる。
5 取組内容	総合的な学習の時間の学びのサイクルを意識して、取り組んだ。 事前：パラリンピックとはどのような大会で、出場する選手はどのような「生き方」をしているかに着目させて、課題化する。 事中：講演会を調査活動とし、課題化したことについての質問を考えながら、講演会で聞いたこと・わかったことをメモする。





事後：課題についてまとめる。

6 主な成果

障害を負うという困難を自らの努力や周囲の支援で這い上がり、新たな夢の舞台に立つことができた横澤さんの生き方をモデルとして、生徒は「生きる」とはどういうことなのか、自分なりに考えることができた。

昨年度、生徒が大変感動していたこともあり、横澤さんに今年度も引き続きお越しいただいた。今年度も生徒は大きな感動と学びがあったことが生徒の振り返りの記述からわかった。今年度は総合的な学習の時間のサイクルに乗せて課題化することで、より横澤さんの生き方から学ぶ、学びのサイクルを意識することができた。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>総合的な学習の時間の学びのプロセス、課題の設定→情報の収集 →整理・分析→まとめ・表現 を意識した。</p> <p>年間計画になく、短期的な内容ではあったが、自分なりの課題をもって聞き、自分なりの学びにつながっていた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>講師との仲介をしてくださった企業の方に、学校の事情をご理解いただけなかったのが残念だった。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>なし</p>